



千葉県

初夏の千葉

～歴史ある町並みをめぐる北総の旅～

◎【観光】

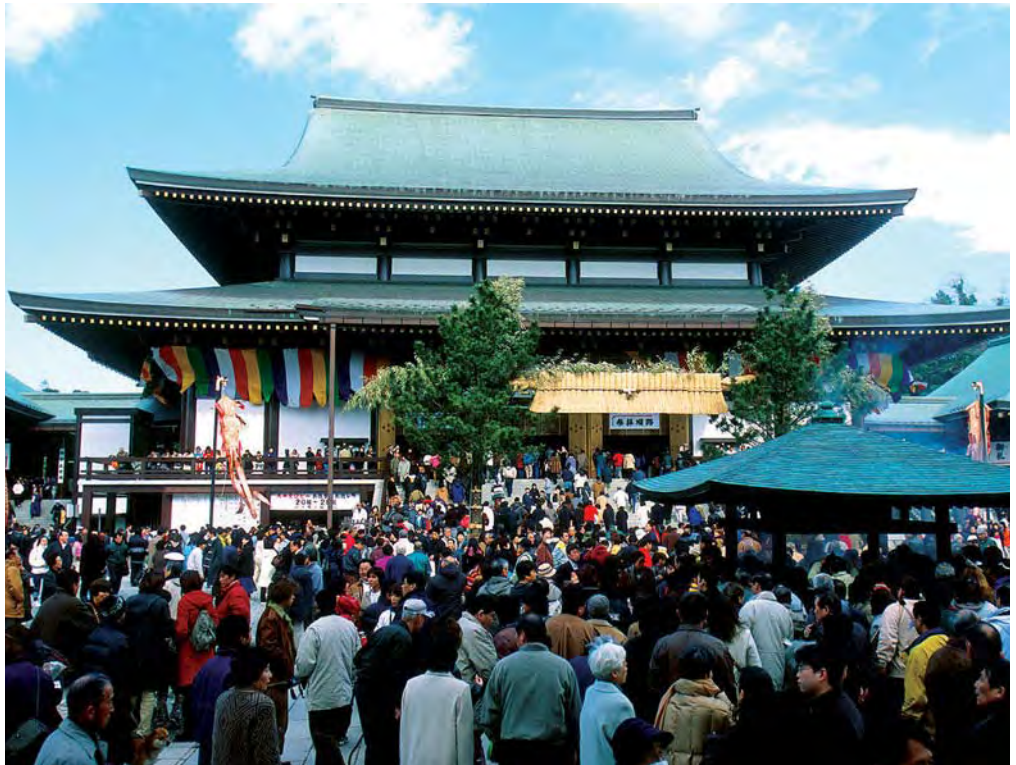
●水郷佐原あやめ祭り(香取市)
香取市にある水郷佐原水生植物園では、水郷地帯の面影を表現した園内に、四百品種百五十万本のハナシヨウブが咲き誇ります。

六月には「水郷佐原あやめ祭り」が開催され、毎年多くの方々が涼しげに咲く花々の姿を求めて訪れます。期間中には園内船めぐりや嫁入り船、郷土芸能の披露などのイベントも行われ、水郷地帯の風情が楽しめます。

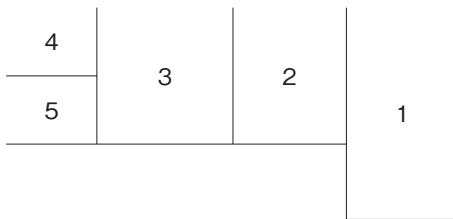
●小江戸佐原の町並み(香取市)
「お江戸みたけりや佐原へござれ 佐原本町江戸まさり」と戯歌に唄われるほど隆盛を極めた「北総の小江戸」佐原。

その面影を残す町並みが小野川沿いや香取街道に今でも残っています。これらの伝統的な建造物の中には、今でも営業を続けている商家が多く、「生きている町並み」として評価されています。

小野川では、さっぱ舟からこれらの風景を楽しむこともでき、人気を集めています。



1. 佐原水郷あやめ祭り
2. 小江戸佐原の町並み
3. 成田山新勝寺
4. 利根川の天然うなぎ
5. 鉄砲漬



また、七月と十月には約三百年の伝統がある「佐原の大祭」が開催されます。大人形を飾った豪華な山車を曳き廻す勇壮な祭りは国の重要無形民俗文化財にも指定されており、一見の価値があります。

● 門前町成田（成田市）

成田山新勝寺への参詣は江戸中期から庶民の間で流行し、成田は門前町として発展しました。新勝寺は「成田のお不動さま」として親しまれ、現在も年間約一千万人以上の参拝客が訪れます。

新勝寺の参道沿いには商店が立ち並び、成田詣でが盛んだった江戸の賑わいを彷彿とさせるような活気を見せています。

世界への玄関である成田国際空港を有する成田では、外国人の姿も多く見られ、古い町並みの中に異国情緒が融合する町になっています。

◎【食】

● 利根川の天然うなぎ

近年は養殖うなぎが主流となりましたが、利根川の下流では、

十月から十一月に天然うなぎ漁を行っています。この時期のうなぎは丸々と肥り大変食味がよく「くだりうなぎ」として昔から珍重されています。店ごとに秘伝の味がありますので、食べ比べてお好みの味をお探しください。

● おみやげに人気「鉄砲漬」

瓜をくりぬいた中にしその葉を巻いた青とうがらしを詰めて漬けたものです。瓜を砲筒、青とうがらしを弾丸に見立てたのでこの名前がつけました。ピリッと辛い鉄砲漬は、数ある成田の漬物店ごとに味や中身の組み合わせなどで工夫が凝らされています。

〈問い合わせ先〉
 千葉県商工労働部観光課
 TEL 043-223-2412
 千葉県庁ホームページ
<http://www.pref.chiba.lg.jp/>
 ちばの観光まるごと紹介
<http://www.kanko.chuo.chiba.jp/>